

超高齢社会における入退院支援

～ 病院地域連携室の役割と介護連携の重要性 ～

2040年、高齢者人口はピークを迎え、医療・介護の需要が最大となります。急性期から在宅への移行を加速し、地域包括ケアを完結させるためには、医療と介護のさらなる連携強化が求められています。本研修会では、改めて病院地域連携室の役割を確認するとともに、病院と介護の連携が成功した事例を共有し、今後の連携強化の一助とすることを目的として企画しました。

内 容

1 病院地域連携室の役割と現状 — 連携室連絡会の取り組み(20分)

千葉大学医学部附属病院 患者支援部 副部長 市原 章子 氏

2 事例紹介(各10～15分程度)

急性期・回復期リハビリテーション・地域包括ケア・ケアミックスの各施設から、連携の重要性を学んだ事例、連携がうまくいった事例をご発表いただきます。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 千葉県総合救急災害医療センター | 医療連携支援室 MSW 赤石 靖子 氏 |
| ② 千葉医療センター | 地域連携係長・退院調整師長 小林 和子 氏 |
| ③ 最成病院 | 地域連携室 室長 奥村 恵美子 氏 |
| ④ 千葉みなとリハビリテーション病院 | 医療連携室 主任 中野 まや 氏 |
| ⑤ 総泉病院 | 地域連携室 係長 中村 耀子 氏 |

3 質疑応答

日 程

令和8年10月28日(水)

午後7時～9時

開催 方法

ZOOMによる
オンライン開催

●対象者 医療・介護関係者のみなさま

●申し込み方法

申込みは下記URLまたは二次元コードから

【締め切り】10/27(火)

【参加費】無料



申込URL:https://apply.e-tumo.jp/city-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=65833

問合先:千葉市在宅医療・介護連携支援センター 電話:043-305-5026